

# アルコール検知器マーケット予測

## 安全運転管理者の業務（道路交通法施行規則第九条の十 第六号）改正

運送業や運搬業など運ぶことを業務としている「緑ナンバー」で義務化されていたアルコール検知器でのチェックが、営業・自社製品の配送など「白ナンバー」の車を5台以上使用する事業者も対象に追加されます。

**2022年4月1日**

- ・ 運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること
- ・ 酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること

**2022年10月1日**

- ・ 運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと
- ・ アルコール検知器を常時有効に保持すること

## アルコール検知器義務化対象

対象事業所数  
338,636 か所

対象運転者数  
7,695,857 人

対象自動車数  
4,694,167 台

内閣府 令和3年版交通安全白書より抜粋

※違反した場合都道府県公安委員会は罰則・罰金として安全運転管理者の解任命令を出せます。また、5万円以下の罰金が科されます。



・ 対面、カメラ、電話、モニターを用いた調子の確認 + アルコール検知器の結果報告が義務化

**2022年10月までに約33万8千の事業所がアルコール検知器を導入する。**

# アルコール検知器

## ○商品特徴

- 息を吹きかけるだけで簡単に呼気中のアルコール濃度をお知らせ。
- 数値に加えて緑、黄色、赤の3色でアルコール濃度を表示
- 充電式なので、急な電池切れでも安心
- 持ち運びしやすいコンパクト設計で、車やカバンなどに入れて外出先でも使用できます。
- 非接触型で、使い回ししやすい。

2022年10月～ 対面、カメラ、電話、モニターを用いた調子の確認 + アルコール検知器の結果報告が義務化

## アルコール検知器義務化対象

対象事業所数  
338,636 か所

対象運転者数  
7,695,857 人

対象自動車数  
4,694,167 台

内閣府 令和3年版交通安全白書より抜粋

酒気帯び運転における 呼気一リットル中アルコール濃度	行政処分の内容
0.15mg/L 以下	なし
0.15mg/L 以上～0.25mg 未満	免許停止
0.25mg/L 以上	免許取り消し

検知方式：半導体ガスセンサー(センサー交換不可)  
表示方法：LCD ディスプレイ  
バックライト付  
測定範囲：0.00～0.95mg/L (0.05mg/L 単位)  
(小数点第二は切り上げて表示)  
結果ランプ範囲：緑 0.00mg/L  
黄 0.01～0.15mg/L  
赤 0.16mg/L 以上  
センサー寿命：1000 回もしくは1年  
電源：3.7V 140mAh  
内蔵電池タイプ：充電式リチウムポリマー電池  
電源入力：DC5V 1A  
動作温度：5℃～35℃(結露なきこと)  
保管温度：0℃～40℃(結露なきこと)  
サイズ：約 24×17.6×82.4(mm)  
重量：約 20g(本体のみ)  
材質：ABS 樹脂  
付属品：USB Type-C ケーブル  
チャック付きポリ袋  
保証期間：1年  
製造国：中国  
※mg/L(ミリグラムパーリットル)  
=呼気中アルコール濃度  
※一回の充電で約100回使用可能

